

平成 26 年度 第 84 回 大学院セミナー

平成 27 年 2 月 2 日

講座名 (責任者名)(内線)	長崎大学院医歯薬学総合研究科 展開医療科学講座病態解析・診断学分野 責任者名(柳原 克紀) 内線(7 5 7 4)
演題	神経難病の分子病態解明と次世代型ルシフェラーゼ免疫沈降システムの開発
講師等	長崎川棚医療センター 臨床研究部 免疫ゲノム医化学研究室長 樋口 理 先生
概要	自己免疫性の機序が疑われる神経疾患の中には、その主因として自己抗体の存在が議論されることが少なくない。特に、重症筋無力症 (MG)、視神経脊髄炎 (NMO)、非ヘルペス性急性辺縁系脳炎 (NHALE) といった疾患では、特異な自己抗体の早期の同定が診断や治療法決定に大きな影響を与える。これら疾患で同定すべき自己抗体の標的は分子細胞膜上に複数貫通する膜分子であることから、その抗体検出に関しては多くの議論すべき点が存在する。現存する数多の抗体検出法の中では、その原理からみても cell-based assay using immunofluorescence 法が最も優れているが、検査結果の定量化という点が未解決である。我々は、CBA using IF 法の長所を取り入れた画期的な抗体検査技術として、cell-based immunoprecipitation systems (CBLIPS)を開発中である。本講演では、CBLIPS の開発に至る経緯と、現在、長崎川棚医療センター臨床研究部が全国展開する様々な自己抗体研究プログラムについても併せて紹介する。
開催日時	平成 27 年 3 月 20 日 (金) 18:00-19:00
場所	良順会館 ボードインホール
備考	

先端医療科学特論(基礎編)

先端医療科学特論(臨床編)

先端新興感染症病態制御学特論

先端放射線医療科学特論